

第 1 0 回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会資料

令和 2 年度 アクションプラン実施内容報告書

令和 3 年 2 月 22 日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

基本方針	テーマ	分類	該当ページ	資料NO	実施時期	アクションプラン	R2年度 実施計画		R2年度 実施内容		R2の総括・ポイント	
1・美しいふるさとづくり	Ⅰ・水源地域の景観形成	1. 水源地域の景観向上	P-5	①	早期	河川と道路の景観保全活動	1. 志々の景観を守り育てる会による除草(継続)	志々の景観を守り育てる会による除草(継続)	○	●企業CRS・紅葉祭→中止 ●志津見ダムのライトアップを実施(11/1～29)(土日・祝祭日 17:30～20:00) ●東三瓶フラワーバレー情報室(飯南町)による紅葉動画配信・飯南町観光協会HPによるポピー・コスモス動画配信により、周辺施設への来客数が増えた。		
							2. 企業CSRの継続	—	×			
							3. 地元団体への声かけやボランティア等の協力要請の検討	3. 地元団体への声かけやボランティア等の協力要請を実施。	○			
							4. 国、県、町、地元住民の除草範囲の共有・明確化	—	×			
					早期	クリーンウオーク(景観保全活動に含む)	企業CSRの中で実施を継続	—	×			
						草刈り研修会(景観保全活動に含む)	1. 男女が参加できる研修会を実施	—	×			
				2. 研修を受ける機会づくり(情報提供など)	—	×						
			早期	町有林による景観美化	環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理	—	×					
		2. 牧歌的な風景づくり	—	—	中期	家畜の放牧	イベント時のヤギ、羊の放牧に向けた検討、調整	—	×			
		3. 四季の彩りフラワーバレー	—	—	後期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	ヒマワリの植栽の継続	—	×			
							—	—	後期		フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備	1. 志々を元気にする会において検討
					2. 山野草を管理している他の施設の事例を調査	山野草の情報収集(県民の森(飯南町))						○
					P-6	②	早期	彩りの森の紅葉をライトアップ	1. 彩りの森のライトアップ		紅葉のライトアップ(彩りの森/うぐいす茶屋シンボルツリー10/29～11/15)	○
									2. 紅葉祭の開催		—	×
	3. 志津見ダムのライトアップ								志津見ダムのライトアップ(11/1-29)	○		
	4. 記者発表等を活用した積極的なPRの実施	SNS(Facebook)を活用したPR	○									
	—	—	後期	一軒一鉢運動を展開	1. 水源地域へのゲートづくりと合わせて実施を検討	—	×					
	Ⅱ・自然環境の保全活用	4. 神戸川エコロジカルネットワーク	P-8	③	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会	1. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画	1. ヤマメのつかみ取り→中止	×	●「神戸川 ゴザ走り大会in志々」8/8 雨天のため中止。 ●水辺で乾杯後、地元住民との意見交換会→中止 ●フラワーバレー上流右岸岸の除草・伐木を実施。		
							2. 下流域住民の参加増を目指す	2. 中止	×			
							3. 川遊びをしながら学ぶような企画を検討	3. 神戸川 ゴザ走り大会in志々→中止	×			
			P-9	④	早期	水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)	1. 水辺利用者との意見交換会の継続	1. 水辺で乾杯の後、地元住民と意見交換会を実施→中止	×			
2. 河床整備、除草等適正な管理							2. 貯水池内の伐木・除草を実施(フラワーバレー上流 右岸)	○				

基本方針	テーマ	分類	該当ページ	資料NO	実施時期	アクションプラン	R2年度 実施計画		R2年度 実施内容		R2の総括・ポイント
2. 明るく元気づけ豊かなふるさとづくり	Ⅲ. 水源地域の活性化	5. 神戸川「川の駅」づくり	P-11	⑤	早期	青空市の活性化	1. 販売コーナーの商品を充実	うぐいす茶屋販売コーナーの商品の充実 ①ぜんざい ②冷やしぜんざい ③餡白玉ONアイス ④小倉トースト	○	●地域懇親会の開催(クラインガルテン歓迎会・庵まつり・志々公民館まつり・志津見収穫感謝祭・昭和少年少女のつどい・水辺で乾杯)→中止 ●大判焼き R2 38,831個(小豆あん 30,165個・白あん 5,245個・餡クリームチーズ 2,466個・抹茶あん 955個)販売。 ●ダム貯蔵酒 120本の貯蔵し、令和2年6月 40本・令和2年10月 40本 販売。 ●イメージキャラクターの活用として、うぐいす茶屋の「くにびきくん」の顔出しパネル設置を継続。訪れた客が写真を撮っている。 ●さつき会館敷地にイルミネーションを設置し、12/2点灯式を実施。 ●志々未来会議と志々を元気にする会の共催により「志々ハロウィンさんぽ」を実施。多くの参加により盛況だったので、継続を検討。	
							2. 加工品の種類の充実	大判焼きの種類増(小豆あん・白あん・餡クリームチーズ・抹茶あん)	○		
			P-12	⑥	中期	憩いの場の充実	「志々さくら広場」を町内外の憩いの場として活用	1. 町内の憩いの場として「志々さくら広場」を活用	○		
								2. もみじ管理→中止	×		
								3. もみじの補植15本	○		
								4. 神戸の森へアジサイを655本植樹	○		
			P-11	⑤	中期	特産品の開発	1. 地区の「お土産」となる加工品の開発	志津見ダム貯蔵酒の貯蔵(120本)・販売(80本)	○		
							2. これまでの成果を活用した特産品の通年販売	地域おこし協力隊による特産品開発及び販売(大判焼き)	○		
		6. 地域コミュニティの強化	P-14	⑦	早期	地域懇親会の開催	1. 地区全員が出られる機会をつくる 2. 取組に対する情報共有 3. ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 4. ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討 5. 中年層の連帯感向上のきっかけ作り	・クラインガルテン歓迎会→中止	×		
								・庵まつり→中止	×		
								・志々公民館まつり→中止	×		
								・志津見収穫感謝祭→中止	×		
					中期	七夕祭り	水辺で乾杯の継続化(七夕イベントとしての継続)	・昭和少年少女のつどい→中止	×		
								・志々ハロウィンさんぽ(10/24、60名)	○		
	・志々イルミ 点灯式(12/2、70名)							○			
	水辺で乾杯							×			
	7. 志津見湖のイメージアップ	P-16	⑧	早期	イメージキャラクターの活用(地域懇親会テーマ)	1. 地域懇談会で利用に対する議論	1. 水辺で乾杯後、地元住民と意見交換会を実施→中止	×			
						2. 看板、広報物へ掲載しPR	2. ポピー祭、コスモス祭でのい〜にゃん出演→中止	×			
3. 「くにびきくん」の顔出しパネルの活用						3. うぐいす茶屋に「くにびきくん」の顔出しパネル継続設置	○				
8. 自然に優しいエコ活動	—	—	中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討	—	×				
					2. 伐採した樹木の活用を検討	2. 伐採した樹木の活用を検討(ダム管理で発生した伐木の希望者への無償配布)	○				
Ⅳ. 地域の有する歴史文化の継承	9. 伝えようふるさとの歴史と文化	—	—	早期	食文化伝承レシピの作成	1. 家庭の味まつりを引き続き開催	1. 第16回家庭の味まつりの開催→中止	×			
						2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討(イベント時など)	2. ポピー／コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売→中止	×			
		P-17	⑨	後期	遺物の展示	さつき会館で通年展示を継続	さつき会館フロアにて通年展示	○			
				早期	民具の展示	1. うぐいす茶屋で通年展示を継続 2. イベント等での展示を検討	1. うぐいす茶屋にて通年展示 2. イベント等での展示を検討	○ ○			

基本方針	テーマ	分類	該当ページ	資料NO	実施時期	アクションプラン	R2年度 実施計画	R2年度 実施内容		R2の総括・ポイント
3 ・人が集まるふるさとづくり	Ⅴ. 水源地域のPR	10. 水源地域の修景	—	—	中期	サインの設置による水源地域の明示	助成金制度を活用し水源地域のPR用看板を設置	・志津見湖ウオーキング案内看板を製作・設置予定 ・志々小学校前へ見どころ看板を設置予定	○	●水源地域の明示としては、手づくり見どころ案内板の設置を積極的に行っている。 ●手づくり見どころ案内板設置のために助成金制度への申請し採択されたため案内板の製作・設置を行う予定。(N＝3箇所)
			—	—	後期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	1. うぐいす茶屋で展開しているプランターでの花の創出の継続、拡大 2. 案内看板の周りに花壇・プランターを設置し、草花・花木の植栽によって水源地域へのゲートを演出(イベント時での展開)	1. うぐいす茶屋で展開しているプランターでの花の創出の継続 2. 飯南町の花いっぱい運動や、花や苗への補助制度で実施。	○ ○	
			—	—	早期	ポピー祭・コスモス祭開催	1. ポピー／コスモスの維持(他地域の事例を参考にした地力の回復検討) 2. ダム見学会、巡視体験等引き続き実施	— —	× ×	
	Ⅵ. 上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	—	—	後期	野外コンサート	1. ポピー／コスモス祭に合わせて、地元学校の演奏会を実施	ポピー祭・コスモス祭→中止		●ポピー祭・コスモス祭→中止 ●志々ファンクラブは、継続してイベント情報の発信を行っており、H29Iには島根大学の学生が「飯南町獅子地区」のフェイスブックを立ち上げ、情報発信を継続している。今後は、志津見地区のイベント日程の早期発信や、フォロワー増のための情報発信の強化を図る必要がある。
			—	—	後期	ナイトバザール	1. 若者や愛好家など「やりたい事」を実現するイベント企画を検討	—	×	
			P-18	⑩	早期	志々ファンクラブ	1. 積極的な情報発信の実施 2. イベント日程の早期発信 3. 会員の具体化の検討を行う(若者や愛好家の参加促進)	1. フェイスブックによる情報発信 2. フェイスブックによる情報発信 3. フェイスブックによる情報発信	○ ○ ○	
			—	—	早期	シンボルオブジェ作り	1. 「かかし」による地域の魅力向上と交通安全対策の検討	—	×	
			—	—	早期	湖面巡視体験	1. イベント以外で地元住民向けの体験会の開催 2. 紅葉の時期の巡視体験の検討	1. 地元住民向け巡視体験→中止 2. 地元住民向け巡視体験→中止	× ×	
			—	—	早期	カヌー教室(PTA対象)	1. 利用ニーズの調査、実施場所の選定、湖面利用ルールの策定	—	×	
		12. 湖面イベントの開催	—	—	後期	カヌー教室(一般対象)	1. 利用ニーズの調査、実施場所の選定、湖面利用ルールの策定	—	×	●地元住民向けの巡視体験・ラジコンボートの操縦体験→中止
			—	—	後期	魚釣り大会	1. 利用ニーズの調査、実施場所の選定、湖面利用ルールの策定	—	×	
			—	—	中期	ラジコンボートレース大会	ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続	ラジコンボートの操縦体験→中止 (ポピー祭で実施)	×	
			P-19	⑪	中期	手作り見どころ案内板	助成金制度を活用し、案内板の内容充実や名所旧跡への案内板設置(例:大イチョウ)など追加設置	志津見湖 ウオーキング案内看板の製作・設置予定。(N＝3箇所)	○	
		13. 志々のみどころ紹介	—	—	早期	マップ(パンフレット)づくり(地域懇親会テーマ)	1. 八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大 2. PR方法の工夫(SNS、HPでのPR、ウォーキング・サイクリングコースとしてのPR等)	1. 八福神マップの配布継続 2. ウオーキング案内看板設置予定(N＝3箇所)	○ ○	●志津見湖 ウオーキング案内板の製作・設置予定。(N＝3箇所) ●フォトコンテストへの応募作品増を図るため、「ファミリー(2L版)部門」を設けた。
			P-20	⑫	早期	フォトコンテストの開催	1. 年間を通した募集 2. 町内PRを強化(応募数減少への対策) 3. コンテスト入賞作品の展示機会の創出	1. 実施済 2. ファミリー(2L版)部門を設けた。 3. 募集チラシに昨年度の受賞作品を掲載	○ ○ ○	
		14. 田舎ツーリズムの展開	P-21	⑬	中期	田舎体験	1. 獅子地区における田舎体験の継続 2. 田舎体験プログラムの他地区展開	1. 獅子地区における田舎体験の継続 ・ダム見学・田植え体験→中止 ・稲刈り体験 ・志々地区運動会→中止 ・秋の例大祭→中止 ・獅子田舎体験の活動報告会→検討中 2. 検討中	○ ○	●9/5 稲刈り体験(11名参加)を実施。田舎体験を他地区で実施できないか検討中 ●獅子地区における田舎体験は、懇親会などで地域住民との交流も深め、定期的なイベントとして定着を見せている。田舎体験への参加をきっかけに、獅子地区以外の住民にも、学生とのつながりが生まれた。
			P-22	⑭	中期	広域的な連携検討	1. 周辺地域(三瓶山周辺)への志津見ダムのPR 2. 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流 3. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)	1. 企業CSRへの招待→中止 2. ポピー祭・コスモス祭→中止 3. 周辺地域との連携(飯南町観光協会のパンフレットに、志津見ダムを掲載。)	× × ○	
		15. 他地区との連携	P-22	⑭	中期	広域的な連携検討	1. 周辺地域(三瓶山周辺)への志津見ダムのPR 2. 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流 3. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)	1. 企業CSRへの招待→中止 2. ポピー祭・コスモス祭→中止 3. 周辺地域との連携(飯南町観光協会のパンフレットに、志津見ダムを掲載。)	× × ○	●周辺地域との連携として、ポピー祭ではNPOさくらおろち(雲南市)と連携し、ブースを設置した。 → 中止 ●飯南町観光協会のパンフレットに、志津見ダムを掲載。

志津見ダム水源地域ビジョン アクションプラン 令和2年度 年間スケジュール

[illegible]

【基本方針1:美しいふるさとづくり】

資料①：河川と道路の景観保全活動、クリーンウォーク、草刈り研修会

流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

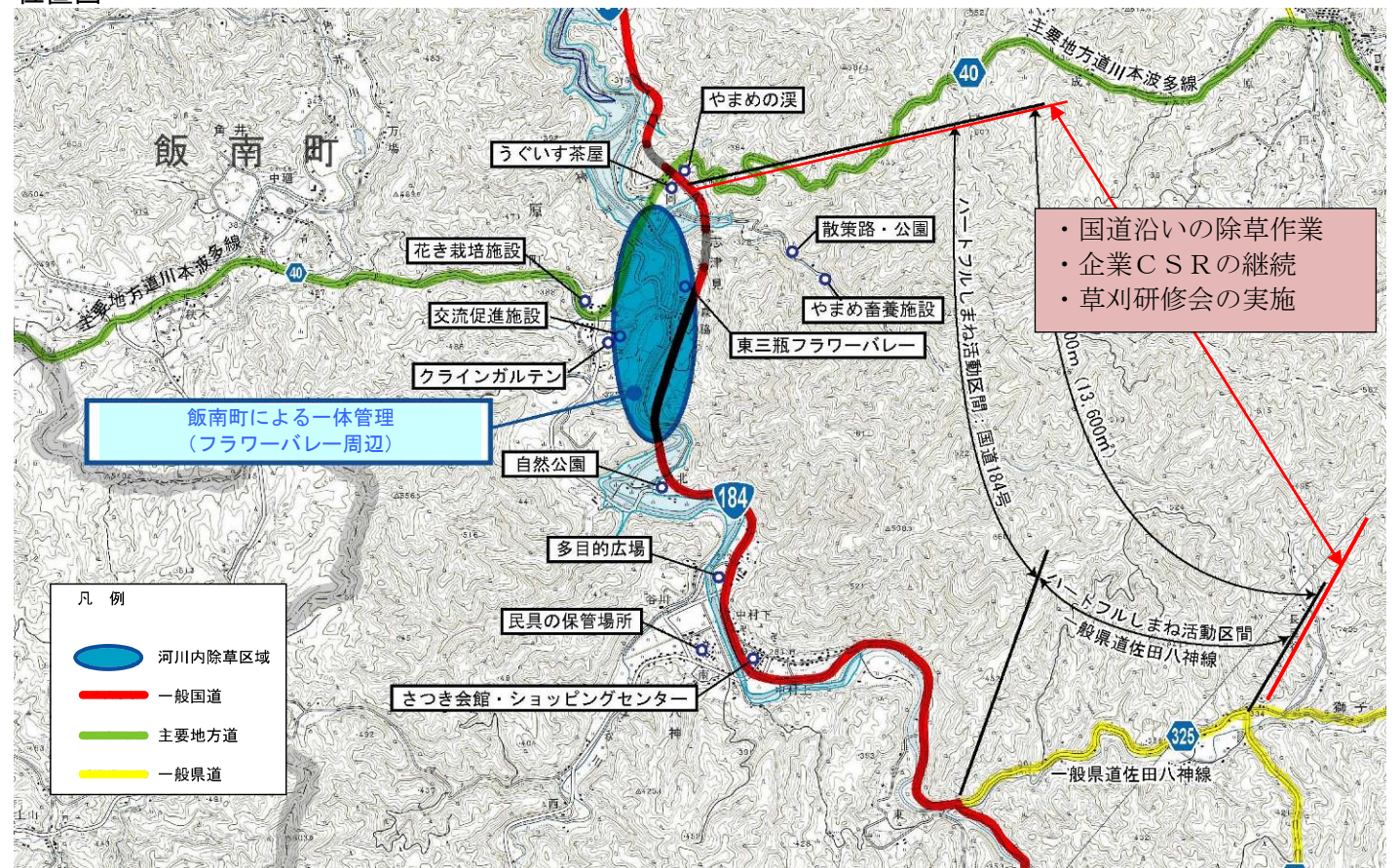
取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成						
	場 所	・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道 184 号、県道など						
内 容	内 容	・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾い等の景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(既存取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』(「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等)を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。[志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やこごみを使った山菜弁当で交流会を実施](既存取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・「志々の景観を守り育てる会」による国道 184 号、一般県道佐田八神線沿道除草(「ハートフルしまね」として活動 年 2 回の除草、延長 6.8km、面積 13,600 m ²) ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者(県、国)および道路管理者(県、町)が行う ・草刈り研修の実施						
		R2で 取り組む べき事項						
R2で 取り組む べき事項		① (河川と道路の景観保全活動) 志々の景観を守り育てる会による除草(継続) ② (河川と道路の景観保全活動) 企業CSRの継続 ③ (河川と道路の景観保全活動) 地元団体への声かけやボランティア等の協力要請の検討 ④ (クリーンウォーク) 企業CSRの中で実施を継続						
実施主体		志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会						
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	① フラワーバレー							
	維持管理協定の締結			●	●	●		
	種の購入			●				
	種まき	●	●					
	除草	●	●	●	●	●		国が町に委託
	② フラワーバレー以外							
	河川区域の除草等	●		●	●	●		
道路区域の除草等	●	●	●	●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 企業CSRによる草刈、ゴミ拾い（継続）

実施主体 飯南町

・実施日 令和2年度は中止

・実施場所 志津見ダム周辺

【これまでの参加実績】

H24: 7 団体、27 名

H25: 5 団体、19 名

H26:23 団体、73 名

H27:25 団体、95 名

H28·26 团体 112 名

H29:24 団休 119 名

H30·26 団体 120 名

P1:24 团体 133 名

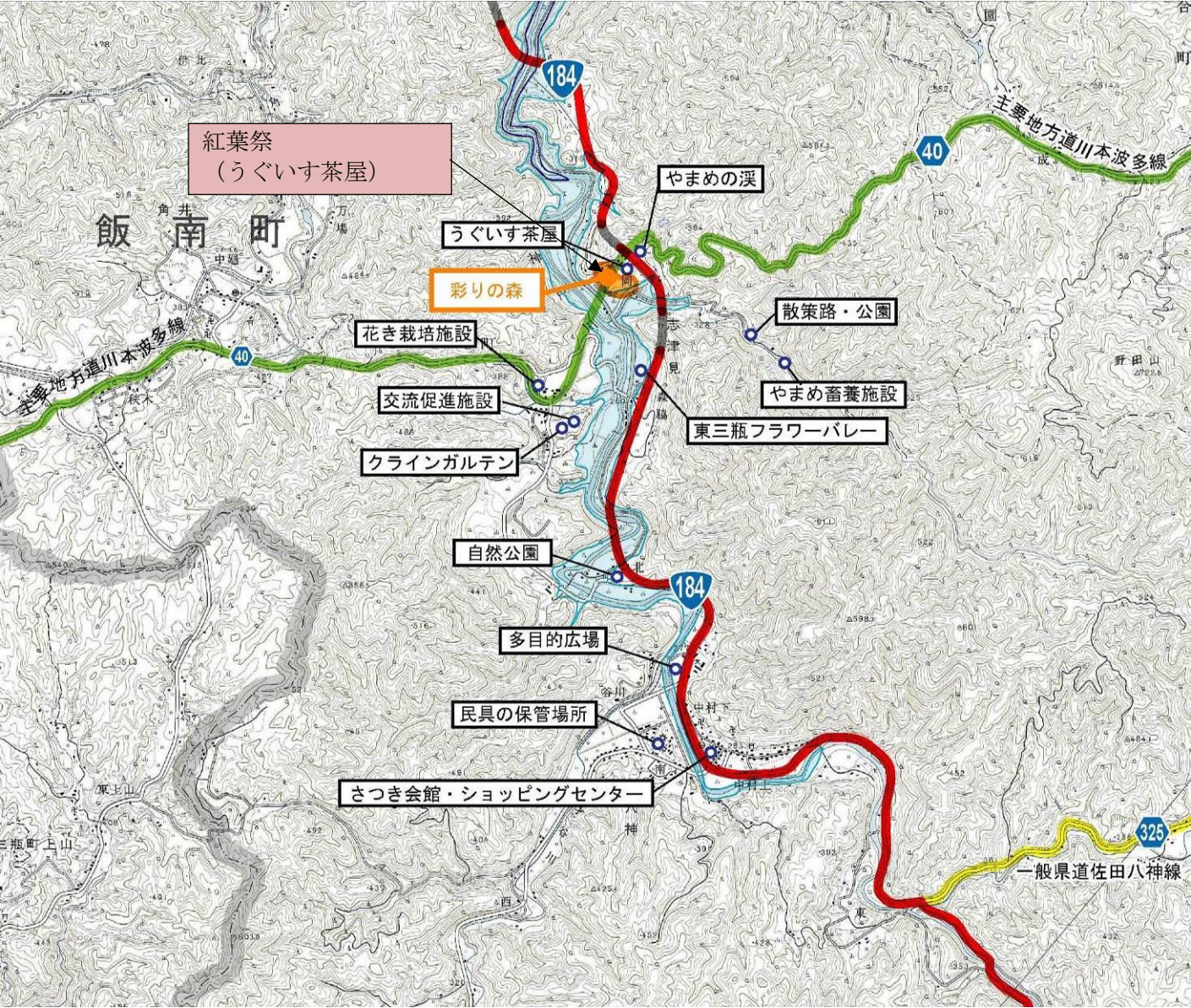
R1.24 団体、155 名



資料②：彩りの森の紅葉をライトアップ								
既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。								
取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出						
	場 所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のみもじ植栽地区）						
	内 容	・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（既存取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森へのもみじの植栽 ・紅葉祭の開催（11月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10月第2週、日曜日開催）						
R2で 取り組む べき事項	① 彩りの森のライトアップ（紅葉祭との連携） ② 紅葉祭の開催 ③ 志津見ダムのライトアップ ④ 記者発表等を活用した積極的なPRの実施							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
	資機材の準備			●				
	投光機の設置			●				
	ライトアップの広報、PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 紅葉祭の開催（継続）
紅葉祭の開催を継続
・実施日 令和2年度は中止
・実施場所 彩りの森（うぐいす茶屋周辺）
・実施主体 （有）志都の里・飯南町
- 紅葉祭との連携（継続）
・紅葉祭にあわせ志津見ダムでもライトアップを実施（継続）
・実施日 令和2年11月1日（日）
～11月29日（日）までの土日祝祭日
・点灯時間 17:30～20:00
・場 所 志津見ダム 堤体

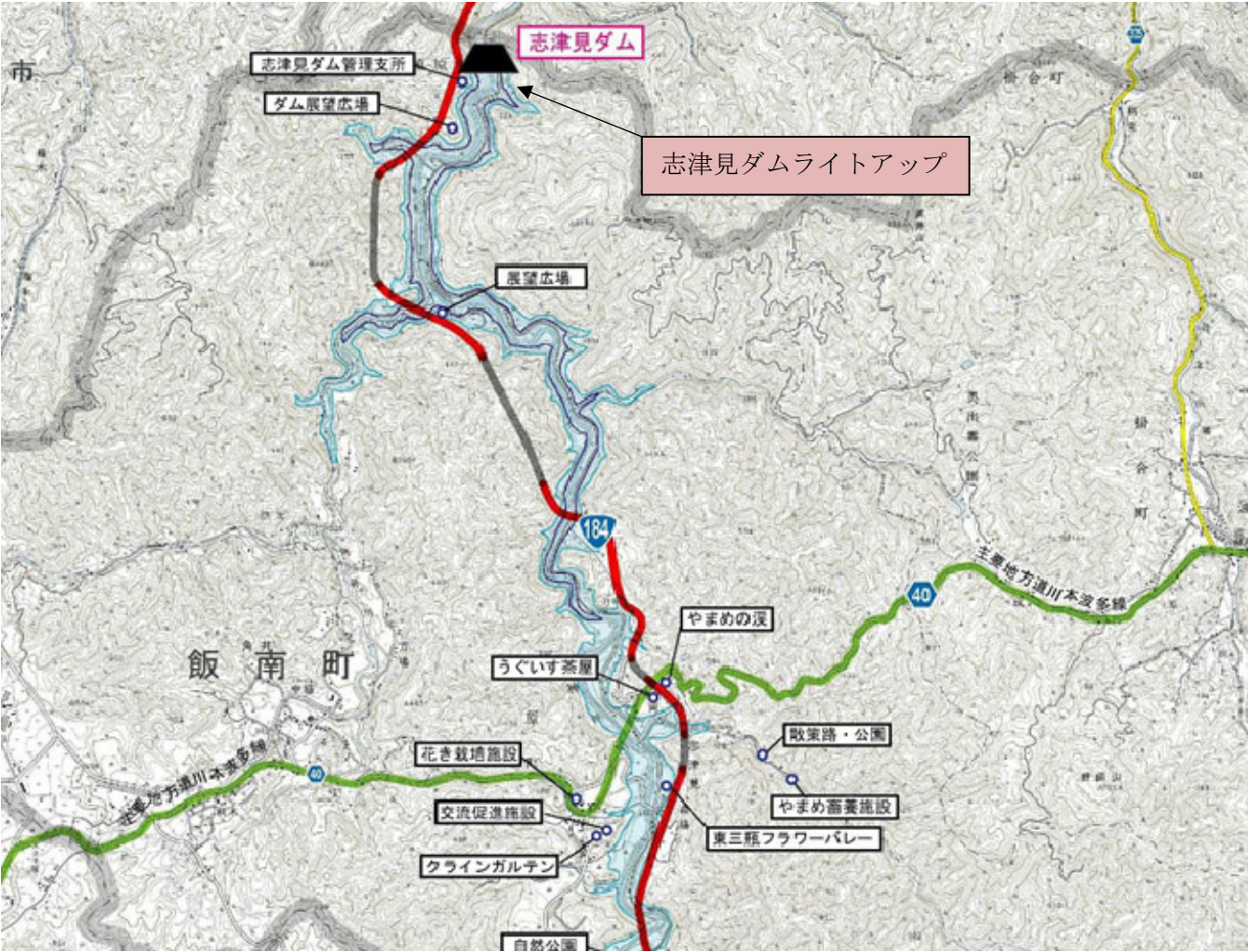


紅葉祭



彩りの森のライトアップ

位置図



志津見ダムのライトアップ

資料③：子供向け環境学習会の実施

早期で実施していた神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプログラムを組み合わせ、上下流の交流をはかる。

- ・神戸川をとりまく自然環境の再認識
- ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供

取り組み 内容 (全体)	目 的	・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成
	場 所	・神戸川流域
	内 容	・上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（既存取り組み） ・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（既存取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（NPO法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011 秋 上下流の6小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校 飯南町八神：志々小学校 3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校 3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校4年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校4年生合同調査（下流） 塩治町：塩治小学校4年生（下流） 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会(2011. 11. 23) 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会

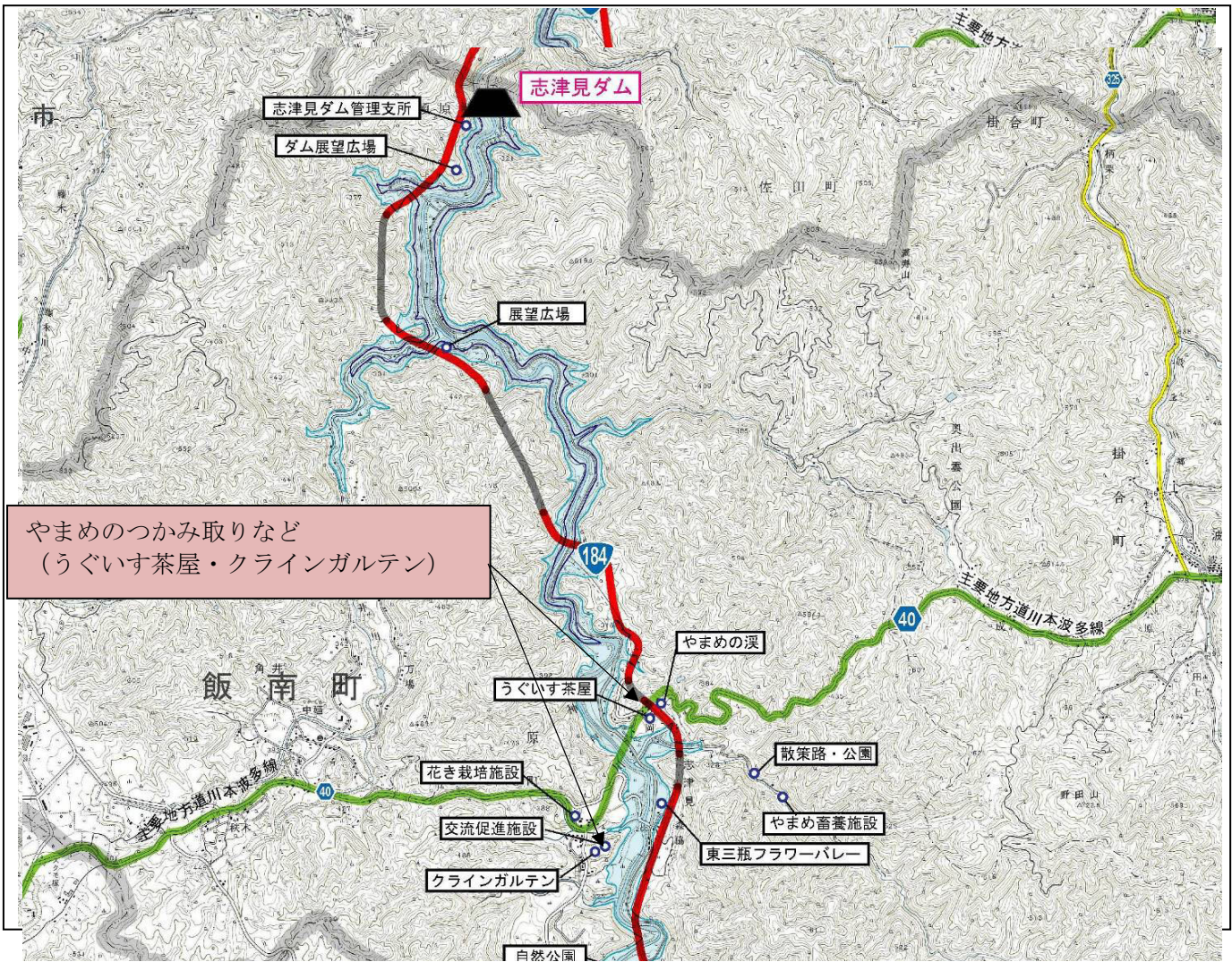
R2で 取り組む べき事項	① ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 ② 下流域住民の参加増を目指す ③ 川遊びをしながら学ぶような企画を検討
-------------------------------------	---

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、P R	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画(継続)
コスモス祭のイベント時に合わせ、ヤマメのつかみ取りを実施 → 中止
2. 川遊びをしながら学ぶような企画
8月8日「神戸川 ゴザ走り大会 in 志々」を、さつき会館前の神戸川で企画 → 当日雨天のため中止



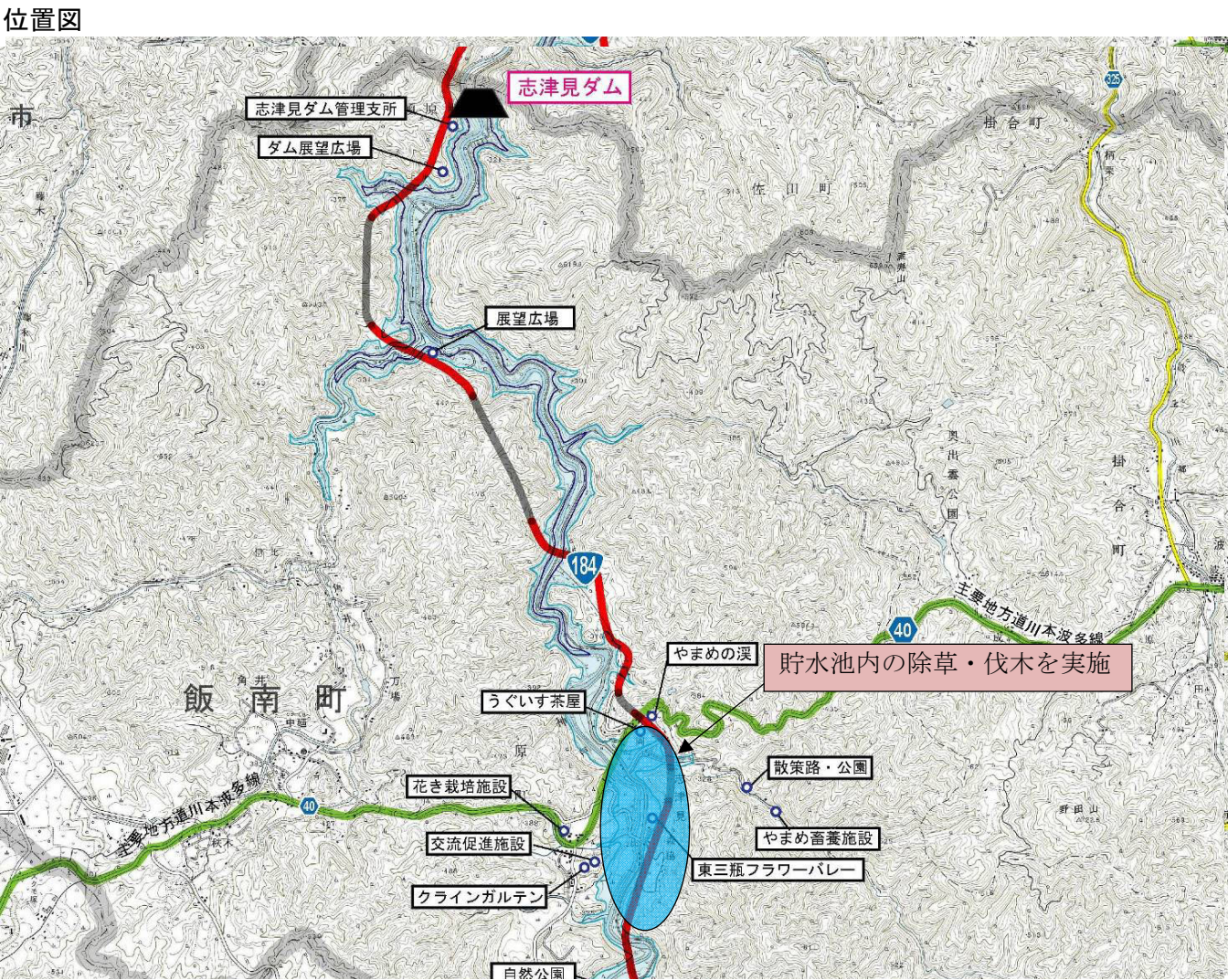
ヤマメのつかみ取り



神戸川 ゴザ走り大会 in 志々

資料④：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）								
水辺公園エリアを利用し、水遊びや川下り、体験・学習等ができる環境を地域住民とともに検討し、整備する。								
取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の自然環境を利用した環境学習 ・自然体験の場の提供 ・エコロジカルネットワークの形成						
	場 所	・水辺公園エリア（志々小学校前）						
	内 容	・水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。						
R2で 取り組む べき事項	① 水辺利用者との意見交換会の継続 ② 河床整備、除草等適正な管理を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、PR	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容
1. 地域との意見交換会
令和2年度は中止。
 2. 貯水池内の除草・伐木
令和2年度は、「フラワーバレー上流 右岸側」の除草・伐木を実施。



フラワーバレー上流 右岸側

位置図



3. 護岸小段部 土砂撤去・除草
さつき会館前 神戸川 護岸小段部の土砂撤去・除草を実施し、親水性の確保を図った。



【基本方針2：明るく元気で豊かなふるさとづくり】

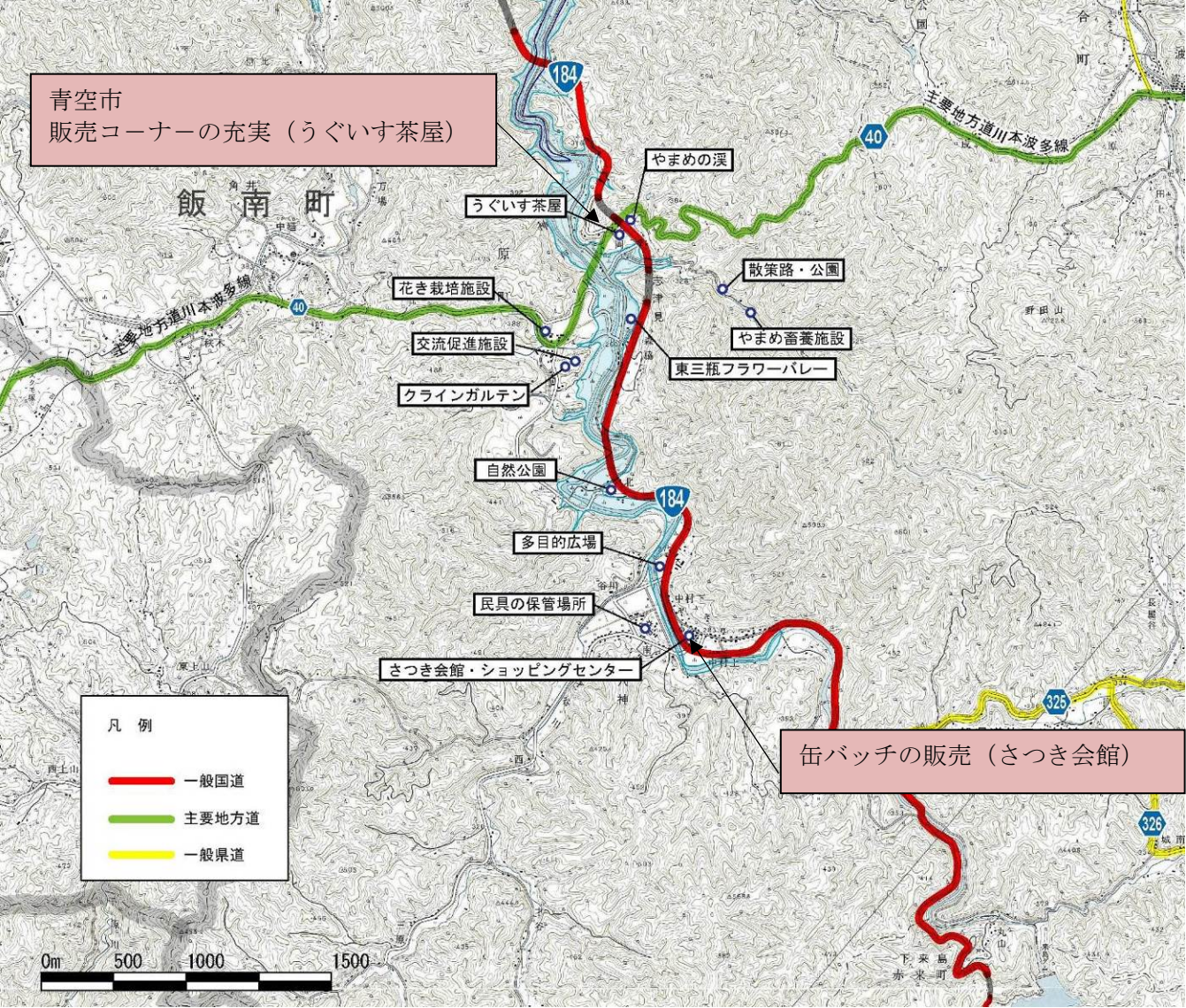
資料⑤：青空市の活性化、憩いの場の充実、特産品の開発

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

取り組み内容 (全体)	目 的	・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘						
	場 所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）						
	内 容	・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。 ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催 ・ダムカレー、缶バッチの販売						
R2で 取り組むべき事項	①（青空市の活性化）販売コーナーの商品を充実させる ②（青空市の活性化）加工品の種類の充実を図る ③（特産品の開発）地区の「お土産」となる加工品の開発 ④（特産品の開発）これまでの成果を活用した通年販売							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	生産から販売までの 仕組みづくり	●		●	●	●		事例研修や勉強会、会場の魅力向上も含む
	生産者の現状把握	●		●				
	出品する農産物の選択	●		●				
	農産物集荷方法の検討	●		●				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
	集客方法の検討	●		●				
	資金の調達手法の検討	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

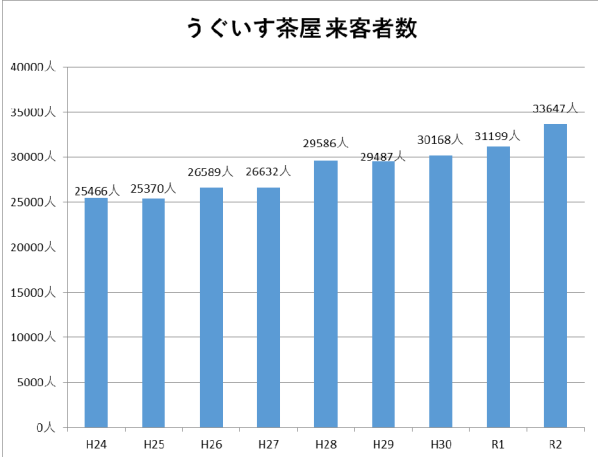
- 販売コーナーの商品の充実（継続）
 - ・ぜんざい
 - ・冷やしぜんざい
 - ・飴白玉ONアイス
 - ・小倉トースト
- 志津見ダム貯蔵酒「治酔」を通じた特産品化
- 地域おこし協力隊による特産品開発及び販売（大判焼き）



青空市



大判焼き



※出典 (H24～H30) 島根県観光動態調査結果、 (R1・2) 飯南町での集計結果



志津見ダム貯蔵酒「治酔」

【大判焼き販売実績】

H30 1,441 個
※H30は10月より販売
R1 18,163 個
R2 38,831 個
(小豆あん 30,165 個
白あん 5,245 個
餡クリームチーズ 2,466 個
抹茶あん 955 個)

資料⑥：憩いの場の充実

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

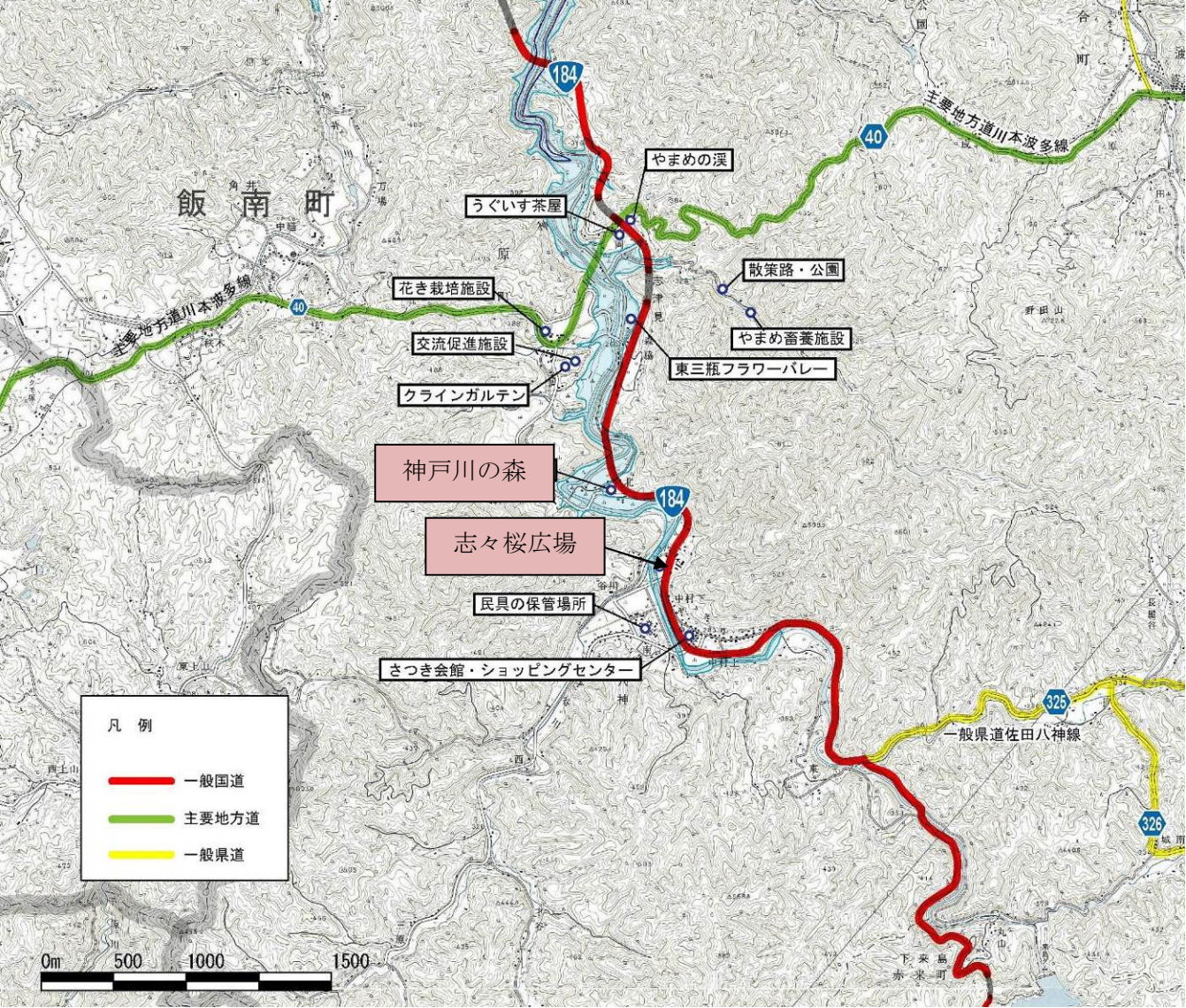
取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 交流エリアや八神エリアの活性化のための施設整備						
	場 所	・ 交流エリア（うぐいす茶屋周辺）、八神エリア（さつき会館）						
	内 容	・ うぐいす茶屋横や古宮の名木周辺の公園化の他、キャンプスペースの提供などを検討する。 ・ また、自然木で作ったベンチ、積み木などを並べ、子供たちの興味を引く仕組みを作る。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 町内の憩いの場として「志々さくら広場」を整備						
R2で 取り組む べき事項	① 「志々さくら広場」を町内外の憩いの場として活用							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	憩いの場の選定	●		●	●	●		
	活用方法の検討	●		●				
	憩いの場としての機能の 拡幅	●		●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 町内の憩いの場として「志々桜広場」を活用
 - ・志々地区体協事業のグランドゴルフ会場として使用
 - ・広場の手入れ→中止
 2. 彩りの森のもみじの充実
 - ・もみじ管理→中止
 - ・もみじの補植 15 本
 3. 神戸の森へのあじさいの植樹
 - ・神戸の森へアジサイ 655 本を植樹



志々桜広場の手入れ



彩りの森のもみじ管理

位置図



4. 志津見ダム上流公園・下流公園への植樹
- ・志津見ダム上流公園・下流公園に、ヤマザクラ6本を植樹



ヤマザクラ

資料⑦：地域懇親会の開催

地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

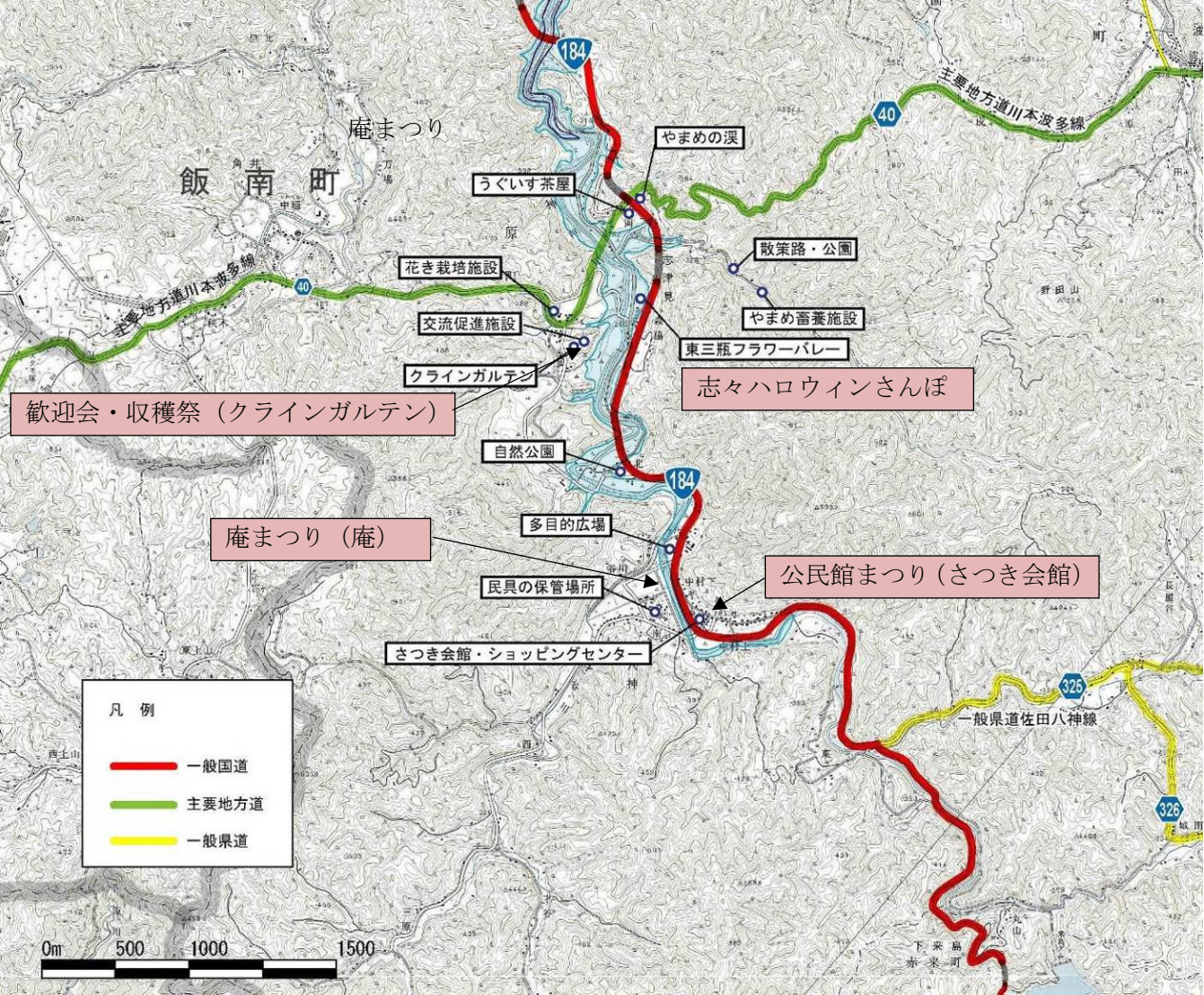
取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 ・ 地域コミュニティの強化 ・ 世代間交流 ・ 情報の共有と連帯感の醸成						
	場 所	・ さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、ダム展望広場						
	内 容	・ 若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。 (既存取り組み) ・ 以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(既存取り組み) ・ 志々ハロウィンさんぽの継続開催を検討 (新規取り組み) <意見交換テーマ> ①「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動 を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 また、自然観察会や家庭の味まつりなどとのタイアップも検討する。 ②「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用(着ぐるみの作成など)や子供たちへのアイ ディア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 ③「マップ(パンフレット)づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連 携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供 できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 【参考】 <既存の取り組み内容> ・ 志津見ダムのキャラクター　くにびきくん ・ ポピー祭のキャラクター ・ コスモス祭のキャラクター ・ 飯南町のキャラクター　い〜にゃん ・ 志都の里　湖畔散策マップ						
R 2で 取り組む べき事項	① 地区全員が出られる機会をつくる ② 取組に対する情報共有 ③ ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 ④ ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討 ⑤ 中年層の連帯感向上のきっかけ作り							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	意見交換テーマの設定	●		●	●	●		
	意見交換と意見集約	●		●	●	●		
	会場提供			●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 地区全員が出られる機会をつくり、取組に対する情報共有やビジョンの認知向上、理解促進に努めた。
- ・クラインガルテン歓迎会 → 中止
 - ・水辺で乾杯 → 中止
 - ・庵まつり → 中止
 - ・志々公民館まつり → 中止
 - ・志津見収穫感謝祭 → 中止
 - ・昭和少年少女のつどい → 中止



クラインガルデン歓迎会



庵まつり



志々公民館まつり



志津見収穫祭

・志々ハロウィンさんぽ

志々未来会議と志々を元気にする会の主催で、10月24日(土) 約60名が参加して、仮装して志津見地区を歩き、志々地区歴史を聞いたり、志々小学校では宝探し、明眼寺ではタイムカプセルを封入した。



ハロウィンさんぽ 集合状況



明眼寺 蔵へのタイムカプセル封入前

・志々イルミ

さつき会館敷地内に、地区住民が集まり少しずつイルミネーションを制作した。今年を象徴する文字として、子供たちより大ヒットアニメ「鬼滅の刃」の「全集中」を作りたいとの意見があり採用した。12月2日点灯式を行った。



SHISHI HALLOWEEN WALKING

志々ハロウィンさんぽ

できるひとは
仮装してきてね
仮装しなくても
もらえるんね!

2020
10月24日(土)
14:00~16:00
さつき会館集合

★お申込み★
10/18までに
こちらから
ご入力ください
入力できない方は
電話またはメールで
お問い合わせください

八神連担地を仮装でさんぽ(約2.3km)。地域の歴史も学べます。
途中、明眼寺でタイムカプセルを蔵に封印します。
雨天時は屋内でハロウィンファッションショー。
いたずらをしてもしなくてもお菓子はたぶんもらえます。
マスク着用、手洗い消毒、検温実施、密回避避にご協力ください。マスクも服装の一部として工夫をお願いします。

主催: 志々未来会議実行委員会 & 志々を元気にする会
問合せ: 090-2719-3705(大江基博)・090-4141-7619(藤原智) shishimirai@gmail.com

Shishi Illumination

志々イルミ

2020

点灯式 **12.2 水**
18:00-19:00
焼き芋や飲み物を用意しています。
ぜひお出かけください。

毎日 12/2から年末頃まで
毎日 17:30-21:00

会場: 飯南町八神117-1
さつき会館敷地内

志々
飯南町
八神
さつき会館敷地内

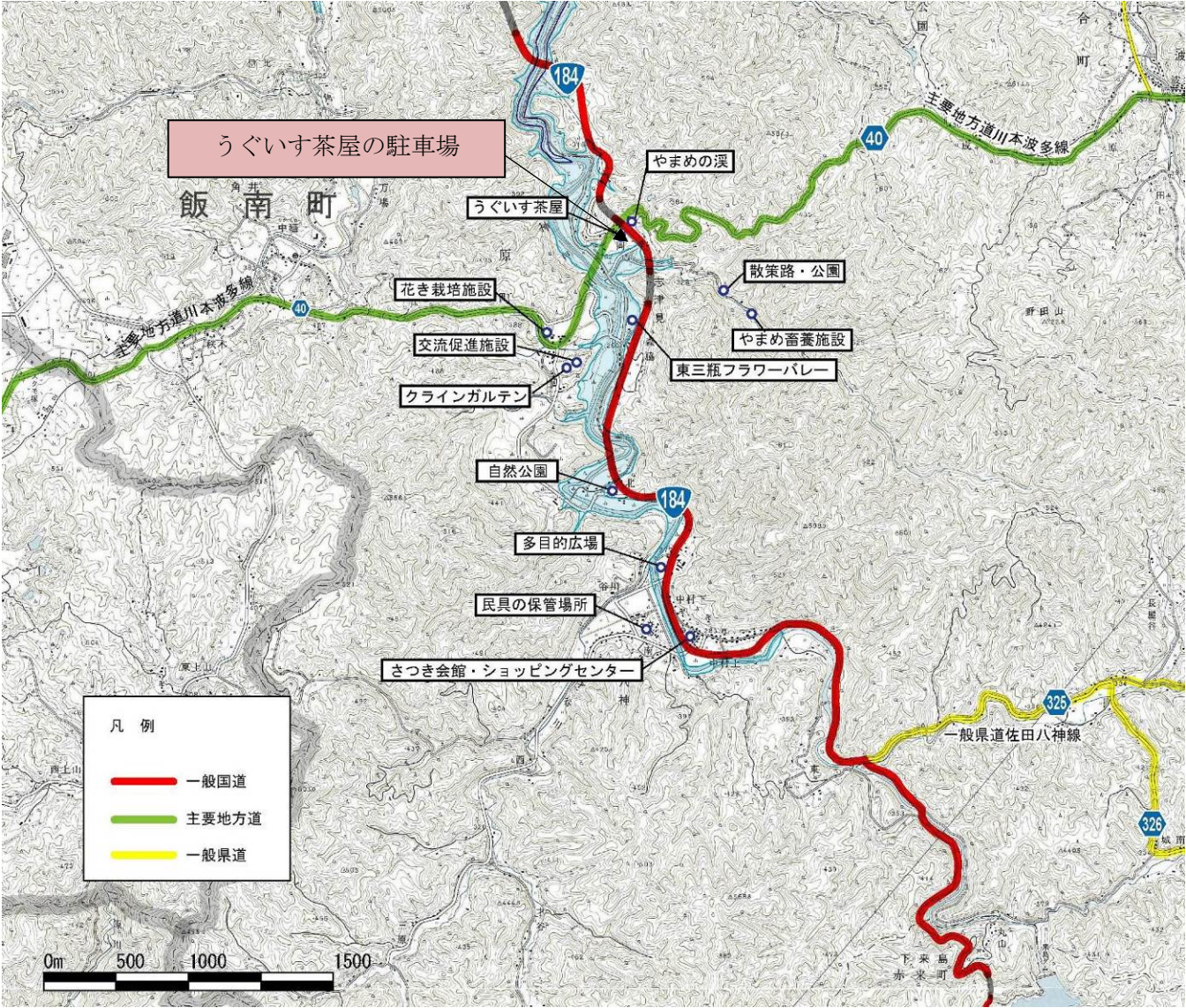
主催・問合せ **志々未来会議** shishimirai@gmail.com
090-2719-3705

資料⑧：イメージキャラクターの活用

取り組み内容 (全体)	目 的	・親しみやすい志津見湖のイメージ作り						
	場 所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）						
	内 容	・既存のイメージキャラクターの活用（着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイディア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・記者発表などの広報資料等への「くにびきくん」の掲載 ・うぐいす茶屋への「くにびきくん」の顔出しパネルの設置						
R 2 で 取り組む べき事項	① 地域懇談会で利用に対する議論を行う ② 看板、広報物へ掲載し P R を行う ③ 「くにびきくん」の顔出しパネルの活用							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	憩いの場の選定	●		●	●	●		
	活用方法の検討	●		●				
	憩いの場としての機能の 拡幅	●		●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- イメージキャラクターの活用促進
 - ・ポピー祭で「い～にゃん」出演



い～にゃん

- ・うぐいす茶屋に写真撮影用の「くにびきくん」の顔出しパネルを設置を継続



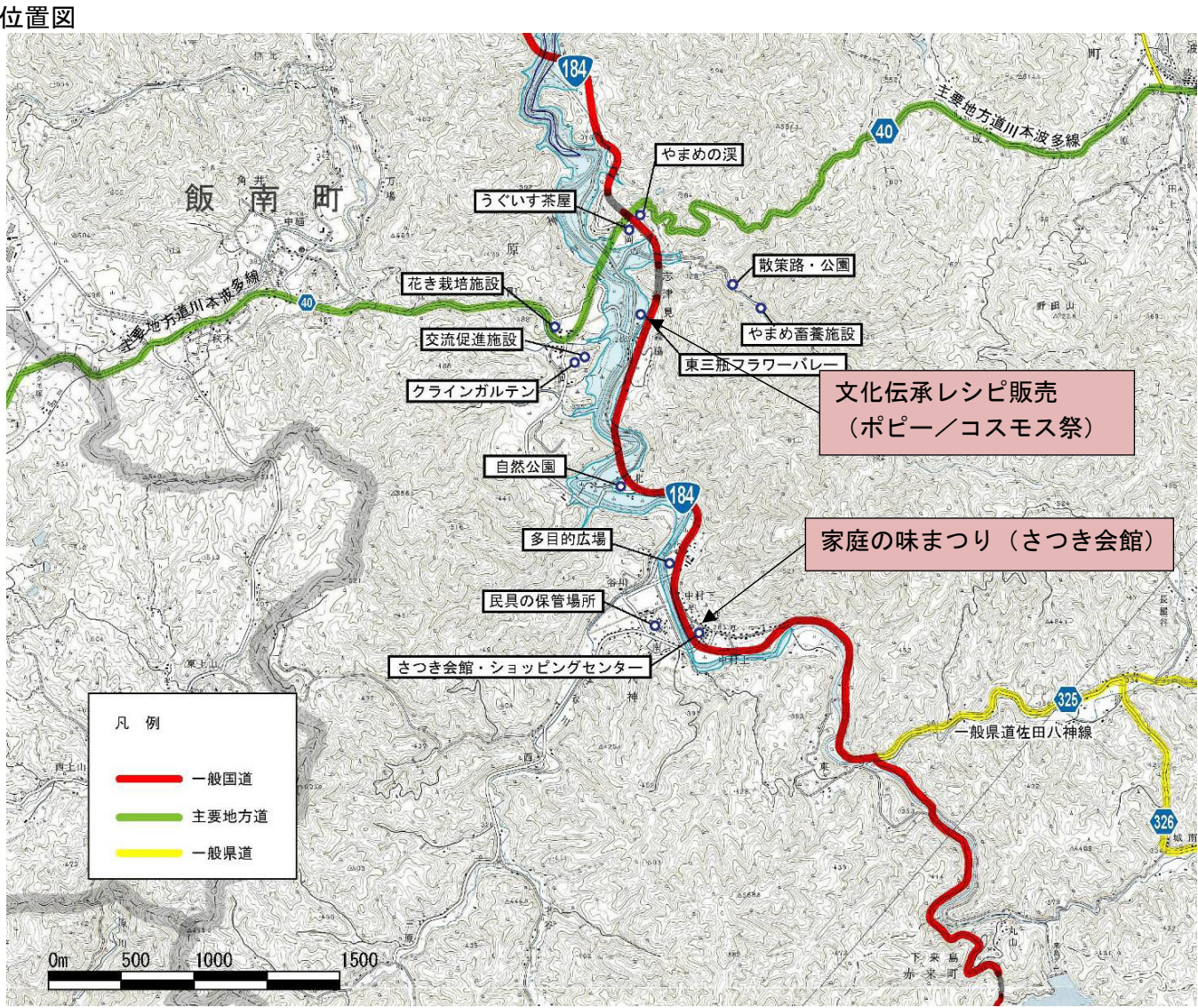
くにびきくんの顔出しパネル

資料⑨：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・ 地域文化の伝承 ・ 地域の食文化の PR ・ 拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・ 地区の活性化と特産品の発掘						
	場 所	・ 志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋						
	内 容	・ 地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。（新規取り組み） ・ うぐいす茶屋でのメニュー化検討。（新規取り組み） ・ レシピに基づく料理教室の開催。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業） 申請中（地域社会振興財団） ・ 志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行						
R2で 取り組む べき事項	① 家庭の味まつりを引き続き開催する ② 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討（イベント時など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	助成申請	●		●	●	●		
	家庭の味まつりの開催	●		●				
	レシピ・写真の整理	●		●				
	レシピのPR	●		●	●	●		
	写真集の発行	●		●				
	写真集のPR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容
1. 「家庭の味まつり」の継続開催
 【第15回家庭の味まつり】11月30日(土)開催
 ・参加者数 88名(昨年97名) 出品数 72品
 → 令和2年度は中止
 2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討
 ・ポピー祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売
 → 令和2年度は中止



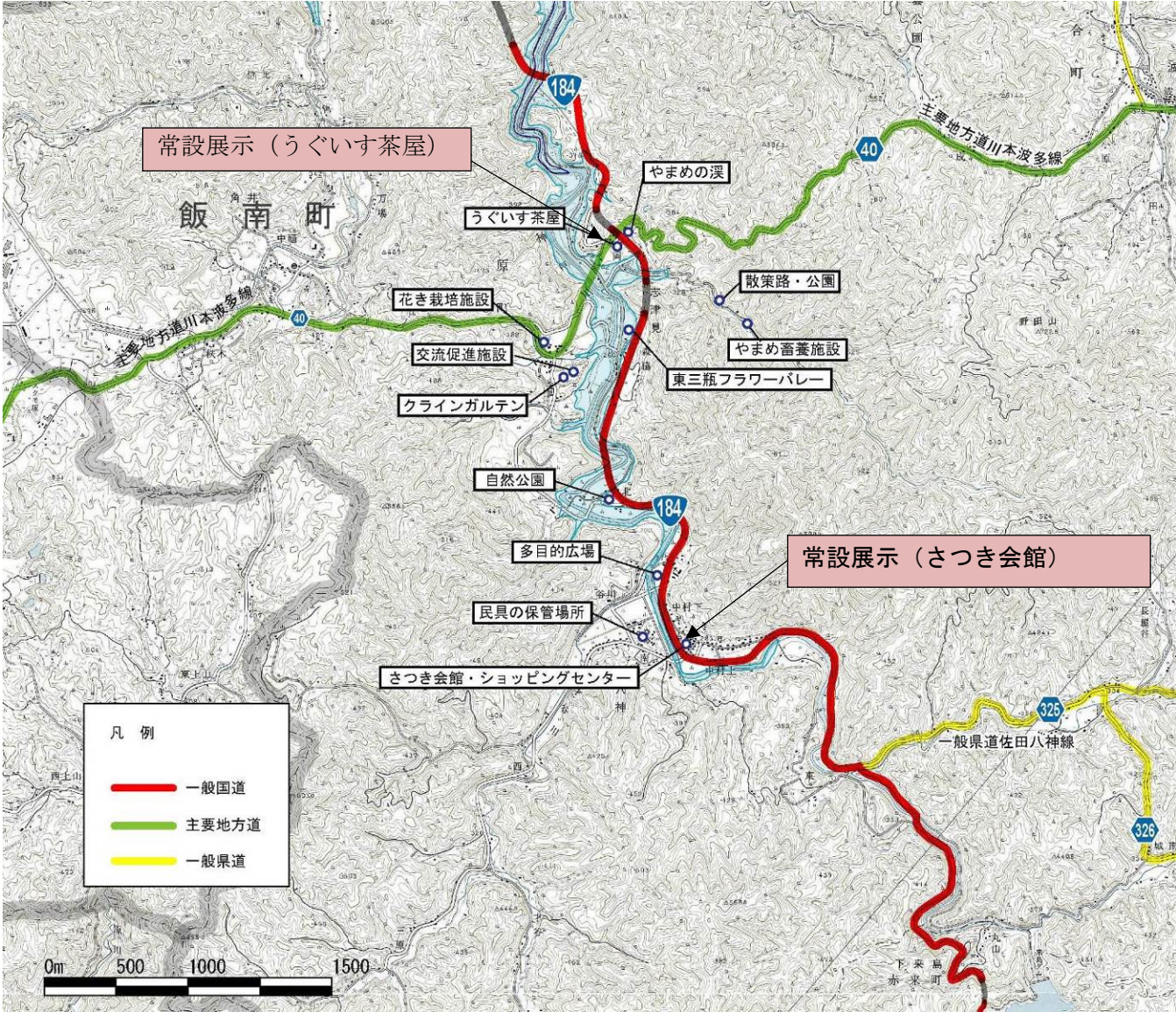
ポピー祭での食文化伝承レシピ関連の商品の販売

第15回家庭の味まつり

資料⑩：遺物の展示・民具の展示								
地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる遺物や民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。								
取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化の PR						
	場 所	・うぐいす茶屋、フラワーバレーエリア、志津見ダム管理支所、さつき会館（志々公民館）など						
	内 容	・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） ・さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ・ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・さつき会館での遺物の通年展示 ・うぐいす茶屋での民具の通年展示						
R 2で 取り組む べき事項	① （遺物の展示） さつき会館で通年展示を継続 ② （民具の展示） うぐいす茶屋で通年展示を継続 ③ （民具の展示） イベント等での展示を検討							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	①うぐいす茶屋等 常設展示							
	常設展示の企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
	民具の搬入・設置	●		●				
	②イベント開催時の展示	●		●				
	イベント展示の企画	●		●	●	●		
	民具の搬入・設置・撤去	●		●				
	民具の管理	●		●				
	③民具の展示のPR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. うぐいす茶屋での民具の常設展示（継続）
2. さつき会館での遺物の常設展示（継続）
さつき会館フロアで、遺物2点の常設展示を継続



民具の常設展示（うぐいす茶屋）



遺物の常設展示（さつき会館）

【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

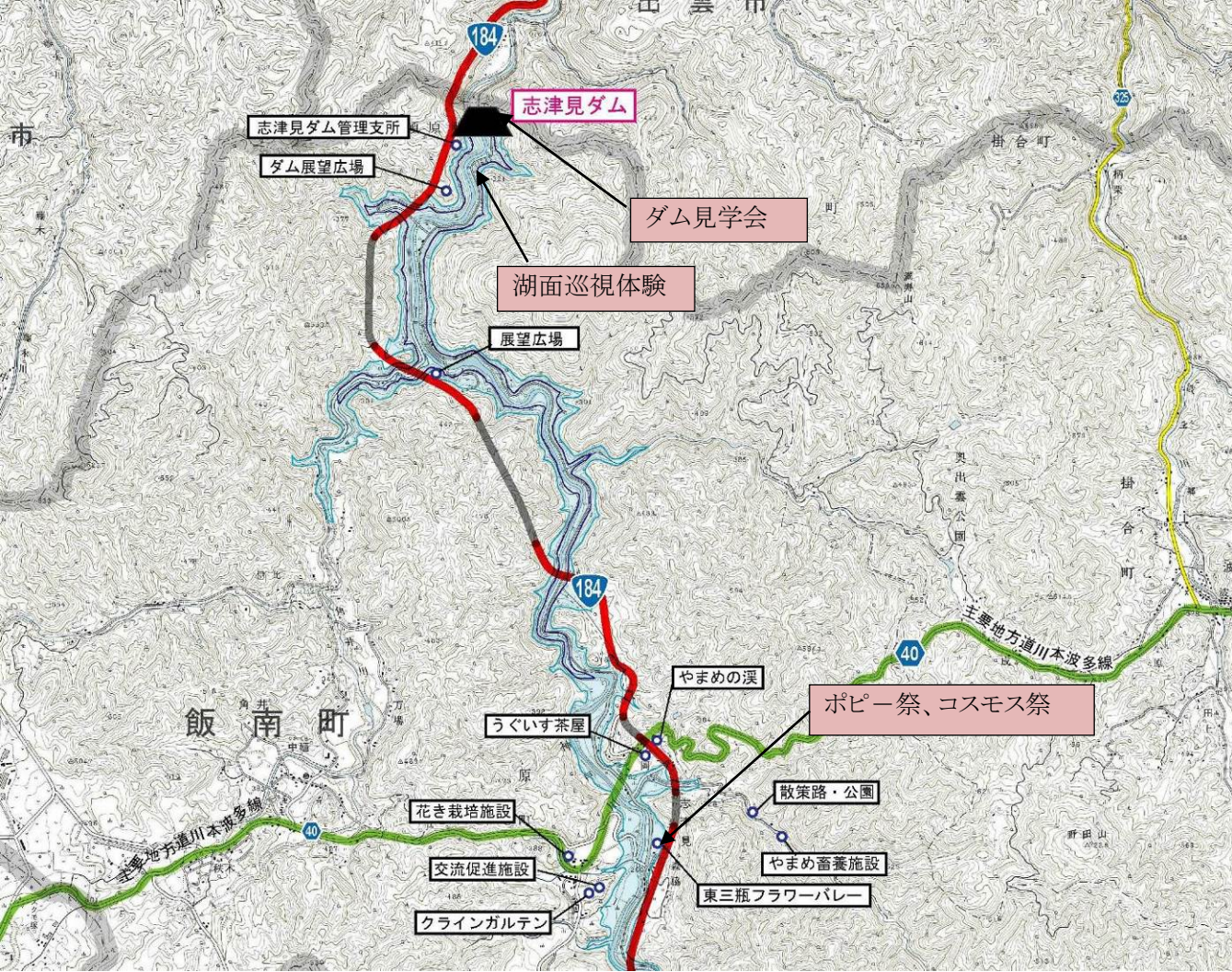
資料⑪：ポピー祭・コスモス祭開催、湖面巡視体験

これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（既存取り組み）や、ダム見学、志津見発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・志津見発電所見学会						
R2で 取り組む べき事項	① （ポピー祭・コスモス祭開催）ポピー／コスモスの維持（他地域の事例を参考にした地力の回復検討） ② （ポピー祭・コスモス祭開催）ダム見学会、巡視体験等引き続き実施 ③ （湖面巡視体験） イベント以外で地元住民向けの体験会の開催 ④ （湖面巡視体験）紅葉の時期の巡視体験の検討							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	湖面巡視体験の実施			●	●	●		
	ダム見学会の実施			●	●	●		
	発電所見学会の実施			●	●	●		
	集中豪雨に関する展示 降雨体験機による体験					●		パネル等の展示
	イベントの広報・PR	●		●	●	●		
	ビジョンのPR	●		●	●	●		パネル展示

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. ポピー・コスモス祭開催

【入り込み実績】ポピー祭 / コスモス祭

H23：3,000人 / 5,000人
H24：4,000人 / 5,000人
H25：6,000人 / 5,500人
H26：4,500人 / 5,500人
H27：5,500人 / 5,000人
H28：4,800人 / 5,000人
H29：4,300人 / 5,600人
H30：5,100人 / 5,900人
R1：6,000人 / 中止
R2：中止 / 中止

2. 地元住民向け巡視体験の開催

・地元向け巡視体験 → 令和2年度は中止



ポピー祭



コスモス祭



地元住民向け巡視体験



フラワーバレーの開花状況



参加型企画
(イモリ釣り)

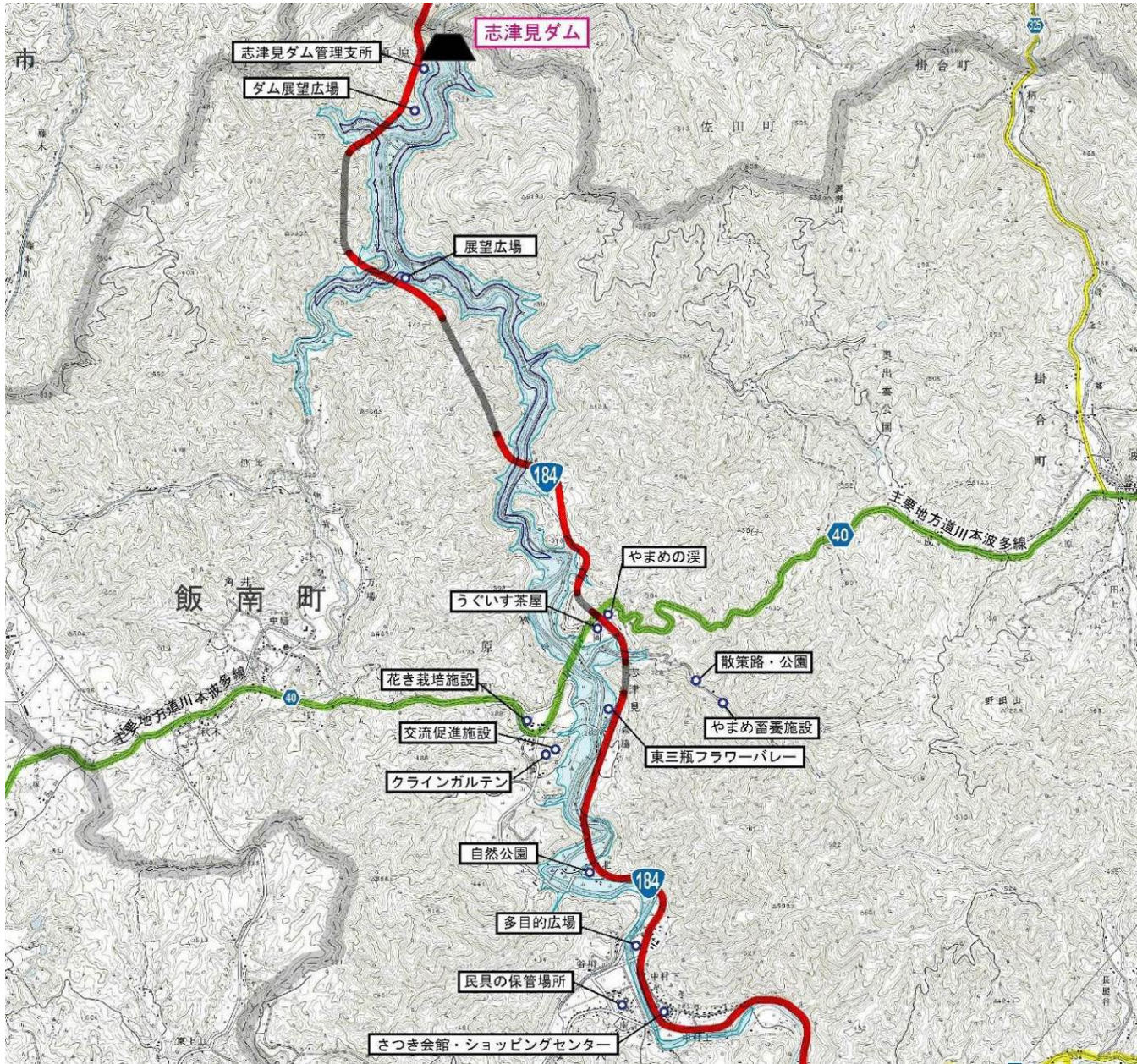
資料⑫：志々ファンクラブ（仮称）

クライנגアルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・水源地域						
	内 容	・クライנגアルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（既存取り組み） ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。（既存取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（既存取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（既存取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし						
R 2で 取り組む べき事項	① 積極的な情報発信の実施 ② イベント日程の早期発信 ③ 会員の具体化の検討を行う（若者や愛好家の参加促進）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	志々ファンクラブの企画	●		●	●	●		
	志々ファンクラブの結成	●		●				
	ネットワークの構築	●		●				
	名簿の収集	●						
	志々ファンクラブの PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. フェイスブックの活用を中心に積極的な情報発信方法を実施（継続）
・既存の「志々ファンクラブ」及び「志津見ダムファンクラブ」を活用し情報発信を行ったほか、田舎体験での交流から、島根大学の学生を中心に立ち上げた「飯南町獅子地区」のフェイスブックによる情報発信を継続。



志々ファンクラブ



志津見ダムファンクラブ



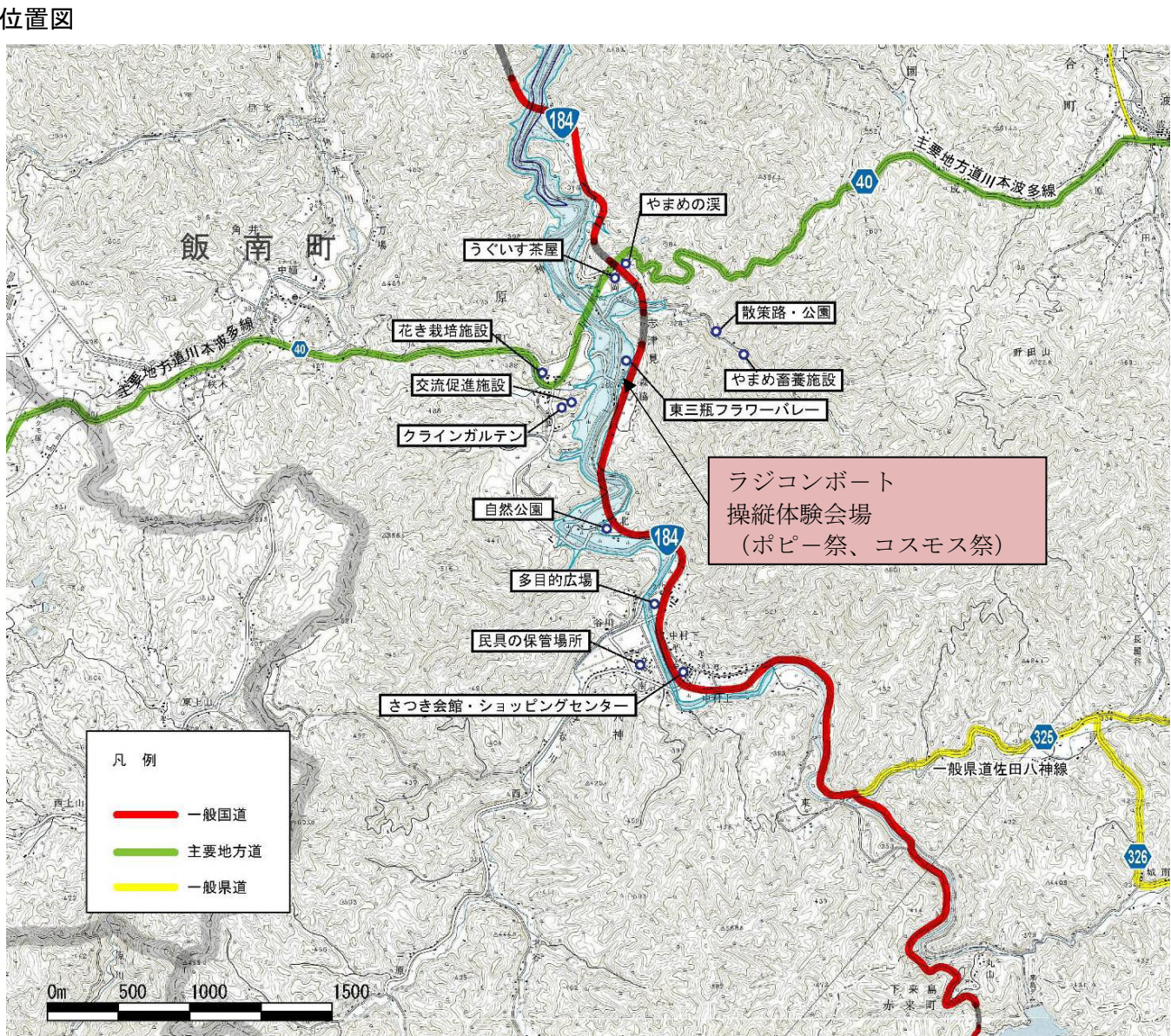
飯南町獅子地区

資料③：ラジコンボートレース大会

カヌーやラジコンボートなど、フラワーバレー周辺の湖面の活用を検討し、実施する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・ラジコンボートの愛好家が集い、レースと楽しむようなイベントを開催する。 （新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・H17～18年の2年ほど、志々小学校PTAを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討						
R2で 取り組む べき事項	① ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	カヌー教室の企画	●		●	●	●		
	カヌー教室の講師 選定	●		●	●	●		
	資機材調達	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



■今年度実施内容
1. ラジコンボート操縦体験の実施（ポピー祭と同時開催）



ラジコンボート操縦体験(ポピー祭)

【ラジコンボート参加者】		
	ポピー祭	コスモス祭
H28	—	30 名
H29	5 名	29 名
H30	30 名	33 名
R1	40 名	中止
R2	中止	中止

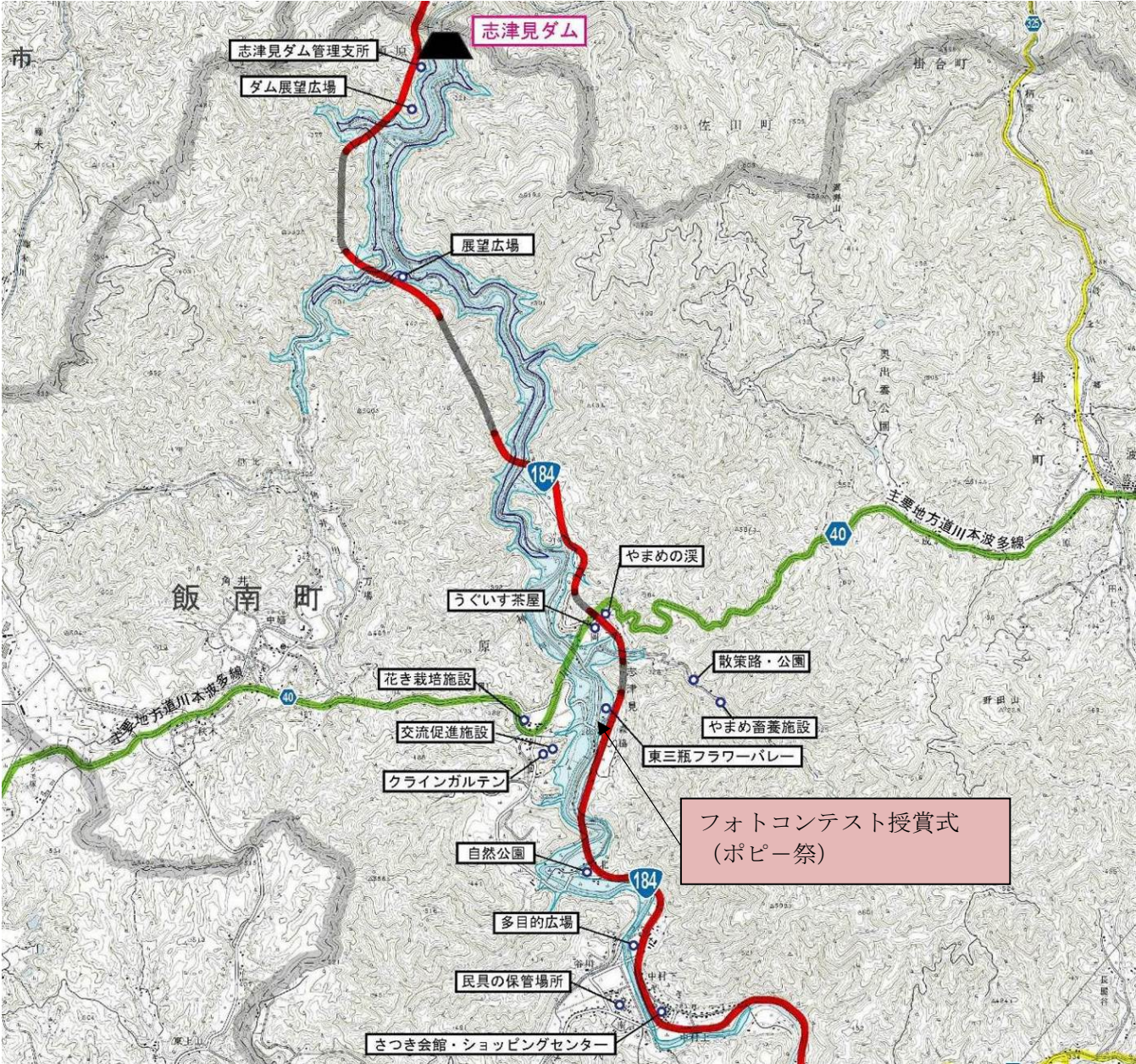
資料⑭：フォトコンテストの開催

ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 景観フォトコンテスト ・ イベントにあわせたフォトコンテスト ・ いーなんの雪携帯フォトコンテスト						
R 2で 取り組む べき事項	① 年間を通した募集 ② 町内 PR を強化（応募数減少への対策） ③ コンテスト入賞作品の展示機会の創出							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	コンテストの企画	●		●	●	●		
	コンテストの実施			●				
	コンテストの広報・PR	●		●	●	●		
	作品審査	●		●	●	●		
	賞品準備	●		●	●	●		賞品として、地域の特産品、巡視船乗船優待などを検討

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
 - 年間を通した募集（継続）
（募集期間：2020 年 6 月～2021 年 1 月）
 - コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討
・募集チラシに昨年度の受賞作品を掲載

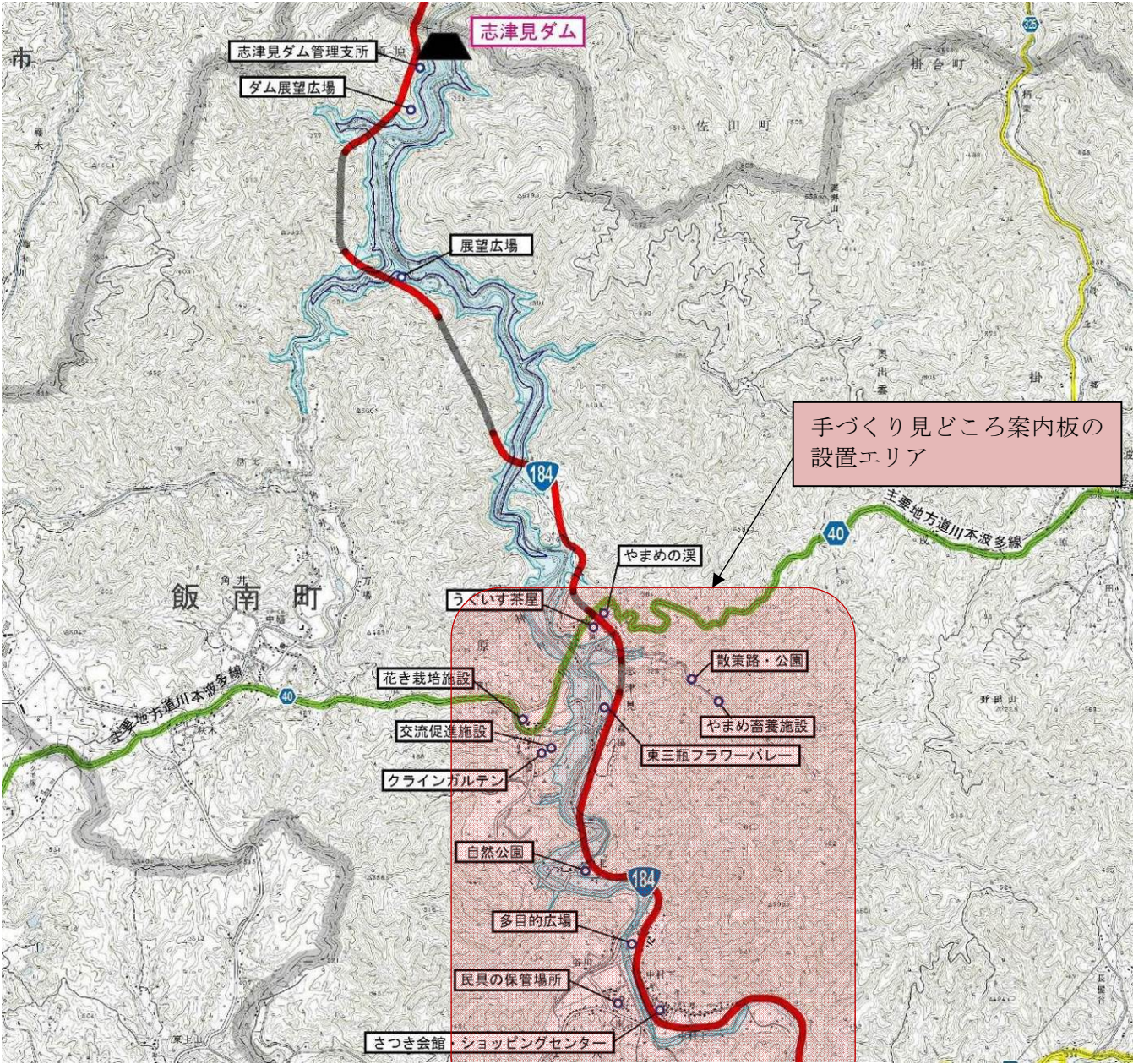
【R1年受賞作品】



資料⑮：手作り見どころ案内板、マップ（パンフレット）づくり

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・ 周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・ ダムのビューポイントの整備とPR ・ 看板の設置（R 1）						
R 2で 取り組む べき事項	① （手作り見どころ案内板）助成金制度を活用し、案内板の内容充実や名所旧跡への案内板設置（例：大イチョウ）など追加設置 ② （マップづくり）八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大 ③ （マップづくり）PR方法の工夫（SNS、HPでのPR、ウォーキング・サイクリングコースとしてのPR等）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ダムHPのアイディア	●		●	●	●		
	ダムHPの改良					●		
	周辺ダムとの連携方策の検討	●		●	●	●		
	ダムのビューポイントの整備				●	●		
	広報			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容
- 1. 手づくり見どころ案内板の作成、設置
「志津見ダム水源地域看板」を（一社）中国建設弘済会 公益費の補助を受けて制作。ウォーキングコースに「志々を元気にする会」のメンバーにより設置予定
 - 2. マップづくり
八福神マップの配布継続



志津見ダム水源地域看板



八福神マップ



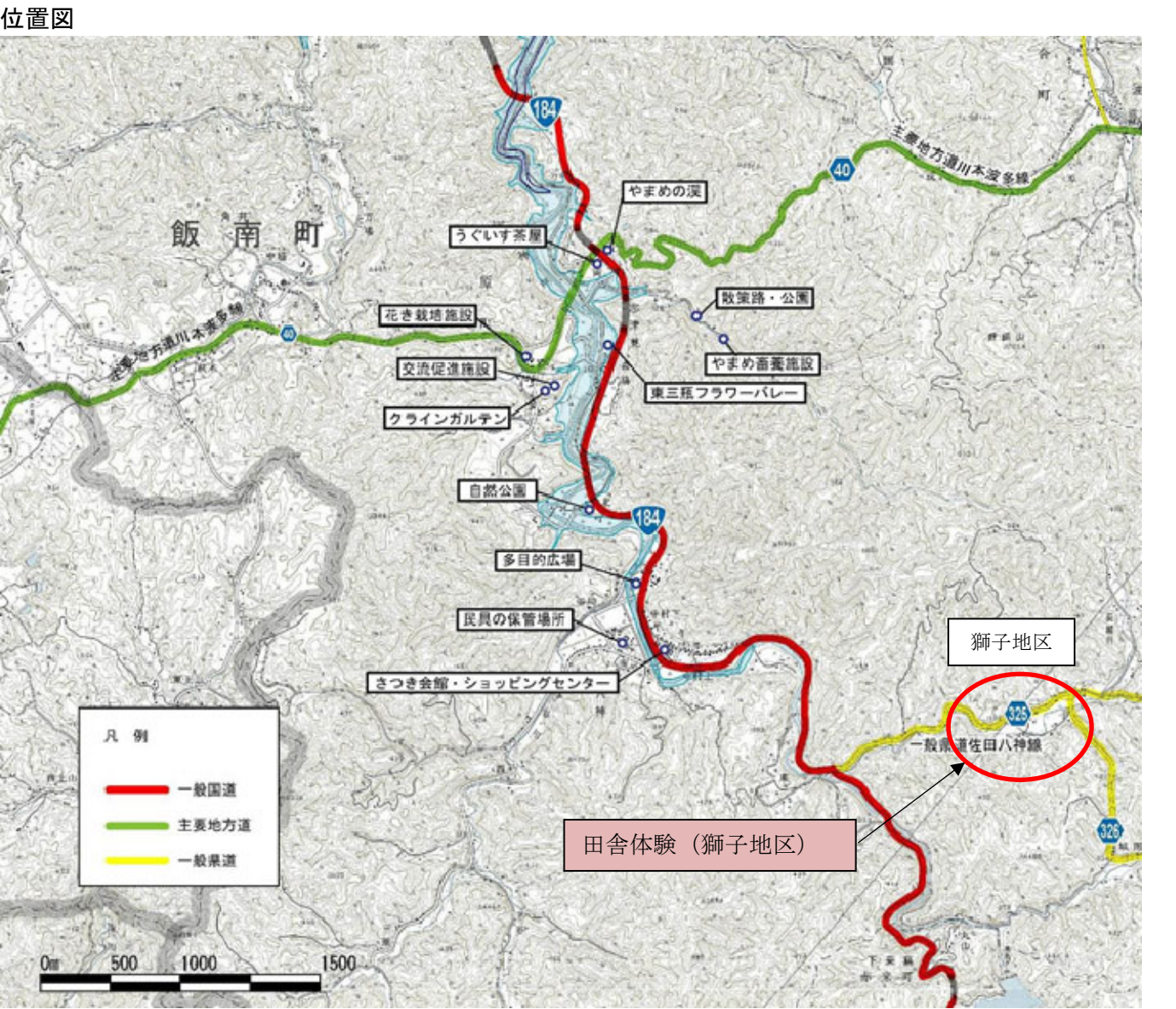
八福神紙芝居

資料⑯：田舎体験

地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・生活体験等を通じた水源地域の魅力アピール ・広域的な交流促進						
	場 所	・水源地域						
	内 容	・地域の自然や生活、食文化などの体験プログラムの作成 ・クライנגアルテンのラウベの活用や民泊システムを検討 【他のアクションプランとの連携】 ・子供むけ環境学習会の実施 ・ダム見学 ・上下流交流 等との連携						
R 2で 取り組む べき事項	① 獅子地区における田舎体験の継続 ② 田舎体験プログラムの他地区展開							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ツアーの企画						ダムの魅力発信	ツアー会社にて実施
	ダム見学の計画・実施			●	●	●		
	広報、 P R			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容
- 1. 志津見ダム見学・田植え体験 → 中止
 - 2. 稲刈り体験
 - 3. 志々地区運動会への学生参加 → 中止
 - 4. 秋の例大祭 → 中止
 - 5. 獅子田舎体験の活動報告会
 - 秋の例大祭のはやしこへの参加、電気柵やメッシュの設置作業などを一緒に行うなど、地域の人との交流を深め、大学生は研究テーマとして当該地区を調査
 - 地元の住民からも、継続実施を望む意見が多数あり、定期的なイベントとして定着を見せている



志津見ダム見学



田植え体験



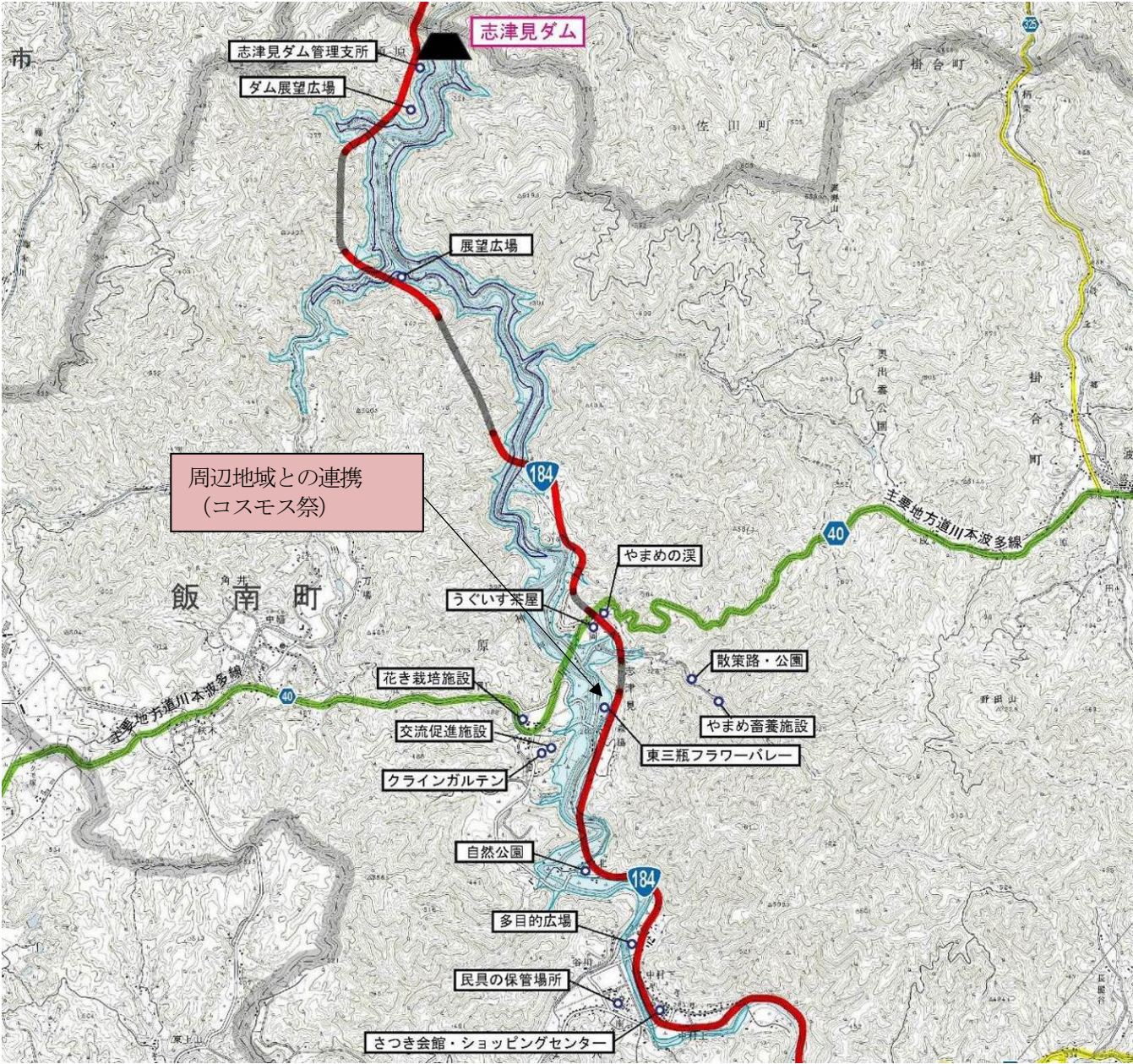
はやしこ参加

資料⑦：広域的な連携検討

他地区との連携を検討する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進						
	場 所	・島根県中東部						
	内 容	・三瓶山（三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル）や石見銀山、出雲市（佐田地区）、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くPRする。 【他のアクションプランとの連携】 ・ 河川と道路の清掃活動 ・ 水生生物調査 ・ ポピー・コスモス祭 等との連携						
R2で 取り組む べき事項	① 周辺地域（三瓶山周辺）への志津見ダムのPRを行う ② 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流は引き続き行う ③ 広域観光の結節点としての機能強化（情報提供など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	イベントの企画	●		●	●	●		
	イベントの運営	●		●	●	●		
	広報、PR			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



■実施内容

- 1. 企業 CSR への招待→中止
- 2. 周辺地域との連携
飯南町観光協会 パンフレットへ志津見ダム掲載。